

日光白根山山(2576m)山行報告

【山行日】 2016年 12月 18日(日) 晴れ
【集 合】 栃木市運動公園P AM 4:30
【費 用】 マイカー1台 : 1,900円
【メンバー】 CL:鈴木ユ 石川、伊藤、稲葉、岩淵、
香川、津佐、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 P4:30=赤沼茶屋
5:40/6:00=菅沼 P6:30/7:00~弥陀ヶ池 9:45/10:00~
白根山 11:30/12:00~弥陀ヶ池 12:40/13:10~
菅沼 P14:55/15:05=湯元温泉「おおりり」15:25/16:15
=栃木市運動公園 P17:30

去年に続き、日光白根山雪山山行を計画した。

今回は若い方達の参加が多く、賑やかで華やかな山行になった。車中、早くもI 渚節が絶好調で、賑やかに楽しそうに会話が弾んでいた。いろは坂も雪が無くて走りやすく、赤沼茶屋のトイレに寄る。宇都宮 HC の方



達が準備をしており、八木澤氏と挨拶を交わす。我々もここで登山の準備をする予定だったが、8名で荷物が多く登山靴やアイゼンを下の荷室に収納したので、準備は登山口で行うことにし出発する。菅沼登山口に着くと、今年は雪が多く夏の駐車場は入れなかったが、菅沼茶屋先の左側が除雪され10台位駐車してある。我々もその駐車スペースに車を止め、出発の準備をしていると宇都宮 HC の車が到着した。宇都宮 HC の方達は、準備を済ましてきたので我々よりも先に出発した。我々もストレッチを済ませ出発する。案内板の前で記念写真を撮り、平坦な道に付けられたトレースを辿るとやがて沢沿いの道になる。

途中から右の斜面を九十九折れに登るようになり、アスナロやシラビソの樹林帯を登って行く。後ろでI 渚さんの声が騒がしく、しばしお花摘みタイム。途中、急斜面の登り方を教えながら、いつもの休憩場所に着くと宇都宮 HC のパーティが休んでいた。我々も休憩し、衣服調整と水分補給をする。昨日まで雪が降り続き、シラビソの木々に積もった雪がとても美しい。ゆっくり登り、弥陀ヶ池まで0.5Kmの道標で休憩し行動食でエネルギーを補給する。ここから座禅山を巻くように登り、道が平坦になると弥陀ヶ池に着き、池の湖面を渡った分岐の広場で休憩する。ここでアイゼンを装着し、ストックをピッケルに替えて山頂を目指す。座禅山の鞍部まで登り、左に折れると急斜面の登りになる。下の方でSLの音がし、Tさんのアイゼンの具合が悪く2人は後から行くとの事で6名は先行する。高度を上げるにつれ風が強くなるが、眺望がよくなり眼下に弥陀ヶ池や菅沼、遠くには尾瀬や会津の山々が見えるようになる。



傾斜は増々きつくなり足に堪えるが、岩場の急登を登り切ると傾斜が緩くなる。しかし風当たりが強くなり、皆のペースが遅くなる。少し先の風が避けられる場所で休憩し、後続が来るのを待つことにする。



天気はまずまずの好天だが、雲の流れが速く去年のような快晴とはならなかった。SLが到着したがTさんの姿が見当たらない。アイゼンの不具合が直らず、登頂を断念し弥陀ヶ池で待つことにしたようだ。ここから少し先で岩場を一旦下り、登り返すと大きな岩の間を縫うように這い上がり山頂に着いた。山頂からは360度の眺望が得られ、男体山や女峰山の日光連山ははっきり見えるが、燧ヶ岳や至仏山等の会津の山々は山頂に雲が掛かって全体は見えなかった。初めて登ったI葉さんや美喜ちゃんには感動し、写真を撮りまくっていた。写真を撮ったら山頂を後にし来た道に戻り、登りで

休憩した場所まで戻って休憩を取る。リンゴや菓子などを食べながら山頂を振り返り、再度登頂の喜びを分かち合う。ここからは来た道を慎重に下って行く。急な岩場の下りでは、I葉さんが途中で1歩を踏み出せず立ち往生。戻って足を置く場所を指示し、何とかクリアした。急な斜面を下り切れれば、あとはアイゼンを効かせて快適に下れる。無事に弥陀ヶ池まで降り、待っていたTさんと合流した。ここで昼食の予定だったが、風があるので弥陀ヶ池の入口まで戻りランチタイムとする。お湯を沸かし、各々が持参したカップ麺やスープ、パン等をいただき下山する。下山は皆さん余裕の歩きで、賑やかなおしゃべりが登山口まで続いていた。案内板の所でアイゼンを外し、駐車場所まで戻って靴を履きかえ温泉に向かう。湯元温泉「おおり荘」へ寄り、温泉に浸かって疲れを癒し冷えた体を暖める。入浴後、ロビーで各々好きな飲物を飲んで水分を補給し帰路につく。帰りの道路も渋滞も無く順調に走り、予定よりも少し遅れたが無事に栃木市運動公園Pに帰着した。

